

# Close-up!

第 4 号  
Chromebook 通信  
教務 | C T 担当  
令和 3 年 7 月 1 9 日 (月)

## ☆実践報告 Classroom・Jamboard を使った 4 回生小論文授業☆

**使用機器**：Chromebook（教員用・生徒用）

**概要**：意見交換をしながら小論文を作成する授業

**クロームブックの役割**：担当が小論文用の Classroom をグループの数だけ開設し（今回は 12 個）、クラスコードを生徒に伝えておきます。（誰と同じグループかは教えていません）Classroom に課題の説明と Jamboard・document のシートを貼っておくことで、グループごとに Jamboard で意見交換をしながら自分の考えを深め、document に小論文を書いていきます。

課題の詳細 (省略可)  
(1) まずは表現トレーニング 2 p.8のwork①・work②を個人でテキストに書く。(1.3分)  
(2) ルーブリックを確認する。work③を個人で考え、添付のドキュメントシートに書く。字数制限なし。検索OK。(1.0分)  
(3) 添付のJamboardに自分の意見や聞いてみたい質問を貼りつつ、ドキュメントシートに小論文を書いていく。ドキュメントシートのタブをドラッグしてウィンドウの外に出せば、2つのウィンドウでJamboardとドキュメントシートを映すことが可能。(2.2分)  
\*付箋にふざけたことを書かない。人の付箋を勝手に消さない。むやみに動かさない。人を不快にさせるような行動をしない。  
(4) 表現トレーニング2を持ち帰り、完成させて19日(月)提出。  
(5) ドキュメントも19日(月)までにこのクラスルームから提出。なお、土日にこのクラスルームを利用してJamboardやMeetを使い、協力して小論文を完成させてもよいが、相手の意見はあくまで参考程度であり、最後は自分の考えで全て書くこと。授業外でJamboardやMeetを使う場合も、授業中と同じルールで、相手に不快な思いをさせないように気をつけること。また、割り当てられたクラスコード以外のクラスルームに入ってはいけない。決められたメンバー内でコミュニケーションをとること。

B I U ≡ ✕

追加 + 作成

小論文 (学ぶことの意味)  
Google ドキュメント 各生徒にコピーを配ります

小論文1  
Google Jamboard 生徒はファイルを編集可能 ✕

**意見**  
自分の意見を明確に打ち出すことができた

S 25 ポイント 自分の意見を明確に打ち出し、相手に伝わった	A 20 ポイント 自分の意見をわかりやすく打ち出した	B 15 ポイント 自分の意見を打ち出した	C 10 ポイント 自分の意見を打ち出すことができなかった
------------------------------------	--------------------------------	--------------------------	----------------------------------

**説得力**  
意見の説得力を高める理由や具体例を示すことができた

S 25 ポイント 理由や具体例を豊富に述べて説得力をもたせた	A 20 ポイント 理由や具体例を述べて説得力をもたせた	B 15 ポイント 具体例を述べて説得力をもたせた	C 10 ポイント 説得力をもたせることができなかった
------------------------------------	---------------------------------	------------------------------	--------------------------------

**字数**  
360字以上書けた

S 25 ポイント 360字以上書けた	C 10 ポイント 360字以上書けなかった
------------------------	---------------------------

**文章構成のポイント**  
意見・説明と理由・まとめに分けて書くことができた

S 25 ポイント 自分の意見・説明と理由・まとめに分けて明確に書くことができた	A 20 ポイント 自分の意見・説明と理由・まとめにある程度分けて書くことができた	B 15 ポイント 自分の意見・まとめに分けて明確に書くことができたが、根拠がなかった	C 10 ポイント 文章構成を考慮して書くことができなかった
---	--	--	-----------------------------------

### ポイント

- ・ document シートは「各生徒にコピーを配ります」を選択することで 1 人 1 人が自分のデータとして管理・提出できるようにし、Jamboard は「生徒はファイルを編集可能」を選択することでそのグループにいる生徒のみ付箋を貼ったりボードを見ることができます。
- ・ 課題にはルーブリックも添付可能です。点数やコメントを付けることもできます。

成績 83/100

ルーブリック 83/100

探究心 23/25

情報活用力 20/25

調整力 20/25

限定公開のコメント

林大輔 7月1日 18:10

付箋をよく活用しています。メインテーマの共感力を高める方法について、具体的に論じているのも良いと思います。医者と患者の二項対立ではなく、お互いにコミュニケーションを尽くした先にある着地点についてしっかりと考えたいですね。

- Jamboard をどのように使ったかを以下に載せます。

○初めての Jamboard での議論。(課題は「医療訴訟や教育現場での管理責任について、あなたの意見を述べなさい」)

○2回目(課題は「筆者は『グライダーにエンジンを搭載するにはどうしたらいいのか。学校も社会もそれを考える必要がある』と書いている。グライダーにエンジンを搭載するにはどうすればよいか、あなたの意見を述べなさい」)

※筆者は文中で、「グライダー人間は言われた通りのことをするのが得意な人間」、飛行機人間は「自分で考えて行動する人間」というようなことを述べている。

## 成果

- 対面できなくても、Jamboard を使ってコミュニケーションをとることができました。なかなか面と向かって意見を言えないような生徒でも、意見を出しやすいというコメントが貼ってあったところもありました。
- Jamboard を使った小論文授業を2回行っていますが、明らかに1回目よりも2回目の方が生徒が慣れて活発な議論が起こっています。ルールを決めても最初は遊ぶ生徒も出るかもしれませんが、回を重ねることで前期生も含めてとても良いコミュニケーションツールになると感じました。

## 課題

- 実は1回目は、最後の15分くらい Meet も使わせたのですが、相手の顔が見えるとそちらがメインになってしまい、議論が止まってしまいました。同じ教室にいるので声も聞きづらかったです。2回目は Jamboard のみでのコミュニケーションでしたが、十分議論できていたと思います。

## 今後に向けて

- Jamboard の使用回数を増やし、経験を積ませてさらに有意義な議論を生み出せるようにしていきたいと思います。
- Meet を使ったコミュニケーションの可能性も探っていけたらと考えています。